

## 「農業に挑戦」

喜代吉 真次（41 歳） 新規参入  
（新居浜市）



### 1 就農の動機・理由

新居浜市の僧侶家系の出身で、僧侶、営業職を経験。植物を育てるのが好きで、多肉植物が流行した時「趣味を仕事にできるかも」と考え、就農を決意。国の就農支援制度を活用し、令和 5 年に就農。

出身地 愛媛県新居浜市

職歴 営業職 7 年

僧侶 8 年

就農年月 令和 5 年 6 月

### 2 農業経営の概要

#### ○経営の展開

| 項目   | 就農時の経営<br>(令和 5 年)                                | 現在の経営<br>(令和 6 年)                                 | 将来の経営<br>(令和 9 年)                                 |
|------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 労働力  | 男 1 人(本人)                                         | 男 1 人(本人)                                         | 男 1 人(本人)                                         |
| 経営耕地 | 畑 23 a<br>田 47 a<br>計 70 a                        | 畑 23 a<br>田 47 a<br>計 70 a                        | 畑 27 a<br>田 47 a<br>計 74 a                        |
| 経営内容 | サツマイモ 20a<br>タマネギ 10a<br>ミニトマト 1 a<br>その他野菜類 18 a | サツマイモ 20a<br>タマネギ 10a<br>ミニトマト 1 a<br>その他野菜類 18 a | サツマイモ 30a<br>タマネギ 10a<br>ミニトマト 4 a<br>その他野菜類 33 a |

#### ○農業用施設

ビニールハウス 2 棟 360 m<sup>2</sup>  
倉庫 1 棟

#### ○主要農業機械

トラクター 1 台  
動力噴霧器 1 台  
ロール式播種機 1 台

### 3 あしあと

#### (1) 就農までの主な経歴

#### (2) 就農時の思い

自分で一からモノを作ってみたいという思いから農業の道へ進んだ。

### 4 就農時の取り組み

#### (1) 技術の習得

就農準備資金を活用しながら、農業指導士のもと 1 年間研修。東予地方局主催の「就農初期農業者研修会」も受講した。

#### (2) 資金の準備

就農準備資金及び経営開始資金を受給。今後、青年等就農資金を活用し、機械購入等充実を図る予定。

#### (3) 農地・住宅の確保

農地は近隣農家より借り入れている。住宅は、就農前の自宅と変わらず。

#### (4) その他苦労したこと

農地を探すのに苦労したのと、知力・体力・財力全てにおいて、不足していると感じた。

### 5 農業経営の特徴

施設ミニトマト・サツマイモを主軸に、タマネギ、ホウレンソウ、小松菜、枝豆、タマネギ苗と幅広い作目に挑戦している。営業の届け出を行い、干し芋の加工・

販売も行っている。

また新たに経営の補完品目として花木（クジャクヒバ）の栽培も開始した。

## 6 これからの夢

いざ始めてみると、思ったとおり農業は楽しかった。

今後は、青年等就農計画に沿った安定した農業経営の達成を目指すとともに、様々な作物の栽培に挑戦し続け、更に楽しいと思える農業の実践を目指す。

また、地域での認知度の向上、および地域社会に必要とされる人として、自分の役割を果たしたい。

## 7 成功したキーポイント

成功するまで突き進みます。

突き進む方向を間違えないよう、地域の集まりや、研修会等積極的に参加し、情報収集に努めていきます。

## 8 就農を目指す方へのアドバイス

私は、亥年（いのしし）生まれですの  
で、猪突猛進です。

農業を始める際は、様々な壁がありましたが、自分を信じて突き進みました。

むやみに突き当たるだけなのもいかななものかと思いますが、これからも勉強し続けることと、情報収集に努めることを止めず、最善を目指して、突き進みます。

街に出てきたイノシシばかり、時には、壁にぶち当たりますが、方向転換し、再び、突き進めばいいのではないのでしょうか。

農業に限らず、思いどおりにいかないことばかりの世の中です。失敗もたびたび訪れると思います。そのたびに、軌道修正し、突き進めば良いのではないのでしょうか。

## ○ 指導機関からのひとこと

常に好奇心旺盛。誰からも愛される人柄で、近隣の若手農家らと日々情報交換や作業の相互協力等行いながら、新しい取り組みにチャレンジしています。

当課主催の就農初期農業者研修会も全回出席。各関係機関との関係も良好で、ここまで順調に就農できています。

今後、地域の中核的存在になり、地域農業の維持・発展に尽力されることを期待しています。

## 執筆機関

東予地方局農業振興課地域農業育成室

電話番号 0898-68-6812



ミニトマトの誘引作業



花木栽培にもチャレンジ中